

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.1	理念に沿ったケアの統一を図る為にケアの年間目標を設定し、チームで確認しているが、職員間で理念の理解、浸透にばらつきがある。	基本理念の解釈をチームで考え、現状に即した理念の再構築、また方向性の統一を図る。	今ある現状を理解し、基本理念の解釈文をチームで考え作成する。支援の方向性を示している基本理念の必要性とその解釈をチーム全体で行う事で、理解、浸透を深めていく。	12ヶ月
2	No.33	看取りについての職員の体制、各機関との連携体制が不十分である。	1)職員の看取りについての知識・技術力の向上を図る。 2)本人・家族の希望があった場合、看取りが行える体制づくりの為に、医療機関との連携に努めていく。	1)①急変時の対応についてマニュアルの整備をし、周知できるよう定期的に勉強会等を開催する。②本人、家族の思いや意向を定期的に確認し、利用者の最期や、死生観について考える機会を設け、人間力を養う。	12ヶ月
3				2)①各利用者、主治医が異なる為、状態悪化時の対応について、定期的に主治医、家族との連携を確認しておく。②サンめいとで看取り行う際に協力が得られる医療機関の発掘。③医師との連携を図る為に、全職員が普段から利用者の状態について医師に的確に報告できるようになる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。